

浦安とみおか川柳会

二月例会結果

日時： 令和5年2月14日(火)
 出席者： 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、長谷川智、
 三浦みちえ、光永ひかる、山岸順、山口しだれ
 山口昇柳

講師：

・講師
 推奨 課題「オアシス」互選

2	3	4	6	7	8	点数
<p>露天風呂山河に抱かれみ雪見酒 <small>家よりも図書館が居心地がいい</small> <small>ハコになっている。上五「いい湯だな」はどうでしょうか</small></p> <p>一日の緊張ほぐす窓明り <small>環境問題をついたよいい句</small> <small>二枚目より居心地がよい三枚目</small> <small>二枚目は疲れる。三枚目の方が生活しやすいということ</small> <small>掛け流し心身共にリフレッシュ</small> <small>その通りです</small></p>	<p>図書館が定年後のよりどころ <small>奥が深い。笑いが止まらないのはいろいろある。例えば</small> <small>今話題のフイリピン詐欺、ナイトクラブの悪の手：</small></p>	<p>足湯して極楽に来た顔となる <small>癒されるイメージが浮かびます。よく出来ている</small></p>	<p>聞きに行くお国なまりのガード下 <small>ガード下が良い。映像が出来ている</small> <small>上野、有楽町などのイメージが浮かぶようです</small></p>	<p>寒い夜急ぐ家路に待つは鍋 <small>うまく出来ている。家はオアシスです</small></p>	<p>傷ついた戦士やすらぐ母の胸 <small>母性に癒される。21番と同想であるが戦士と具体性がある</small></p>	<p>和昭 勝 勝 順 勝 和昭</p>

没	1
<p>ストレスを減らし健康オアシスへ <small>健康ランド、万華鏡など入れたら</small></p> <p>傷ついた心を癒す母の胸 <small>4番と同想。句としては出来ている</small></p> <p>孫達と元旦墓参君笑顔 <small>憩いの場求めさまようビル谷間</small> <small>オアシスの母叔母義父母奮い立つ</small></p>	<p>脳を老化させないやり続け生き <small>カタカナが続いている。ジャパンはなくてもよいのでは</small></p> <p>ウクライナジャパン名湯届けたい <small>帰り道わが家の明かり見とどける</small></p> <p>一掬の湧き水探す都市砂漠 <small>一掬(いっきく)が分かりづらいようです</small> <small>漢語でないほうが良かった(ひとすくい)</small></p> <p>心魂を癒されに行くコンサート <small>「心労」ではどうでしょう</small></p> <p>遅咲きのピオラ一輪庭のすみ <small>勝った日の新聞ひろげてるトイレ</small> <small>やっと今応援の声好きに出す</small></p>

昇柳
 しだれ
 智
 和昭
 ひかる
 ひかる
 順
 宣子

川柳いろいろ

没句

一人選句（浮く）

浮き沈みあるのが人の定めかな
浮き沈みあって人生面白い
太く浮く欠陥あまた老いを知る
ストレート浮いたボールがホームラン
天才が王将戦で浮く負ける
オヤジギャク浮いていきますねしらけ鳥
小遣いを節約してはへそくりし
淋しさに包まれたとき心浮く
夏休みひとみに浮いてるほたる
二刀流浮いた話は切って捨て
老い独り浮いた噂の欲しい日々

自由吟

腰痛のカイロと出会い上機嫌
遺産とり我が家は一人よかったね
コロナワクチン5波強くうつを捨て
老いの道楽しむ日々を見よ我が子
暴力を指導と返す指導陣
春立つ日梢突き抜く空の青
危うと感じながらの闇バイト
ドローンの活躍の陰事故も増え
新宗家閨をまとして襲名す
気軽付き合う人ボランティアの増え
免疫力挙げていよいよラストラン

川柳の理論と実践

新家完司

つまらない句とは何か（その三）

1 一般論ではないのか？
にんげんの生き方は様々であり、考え方も様々。
そのような個別の違いには触れず、多くの人の意見を
集約したような考え方を「一般論」といいます。

① 一つの世も図太い奴が生き残る

② どなたでも一つや二つ脛に傷

③ 忘れたいことを世間は知っていたがる

④ うまそうな話の裏には罠がある

①と②は「この句は一般論です」と言っているのと同じ
「どのように図太いのか、どのような傷」なのか具体
的でないから、ここに響く手掛りと材料がないのです。

③も④も具体性なく、新鮮味も感動もありません。

川柳の醍醐味の一つは「共感の心地良さ」です。
自らの体験や感情を具体的に述べた作品だけがその力を
持っている。次の句は一般論の句とどう違うのでしょうか

・ 生きてるはずだが出も欠も来ぬ

・ 金持ちの不幸をみても金は欲し

・ 若い娘を見たくてフラリ街に出る

・ ATMにしろかられながら生きている

「あつ、ほんとだ。面白い！」と立ち止まらせる力がある。

状況や想いを具体的に述べたことよって生じた力です。

2 つくりごとではないのか？

季節を先取りした句にしばしば出会います。

・ 落葉さらさら暦も薄くなってきた

・ 神の留守金の降る大銀杏

・ 色づいて渋滞誘ういろは坂

・ 一筆を添えた賀状が温かい

このように季節を先取りする例はたくさんある。しかし
川柳は文芸です。季節を先取りした句は想像上の景色とか
頭の中で組み立てたことを述べているだけです。実感
から遠い平凡なものになってしまいます。

掲載される月など無視して、「今の自分の姿、今の自分
の想い」を詠うこと、即ち「今の季節」を詠えばいい
のです。肝心なのは「現場に居合わせた者しか知り得ない
事実」を探し出すことです。そのことよって臨場感を
持たせることが出来るのです。

鑑賞 犬吠

令和三年三月号より

フラワーライン

・ 千紫万紅より

どのように褒めてあげよう反抗期
何だっけ君を口説いてあの言葉
吊り革に昔愛した人の顔
黙々とマスク行き交う交差点
遠くなる故郷近くなる他人
捨てられず年を越しそなあれやこれ
すっぴんも隠せるマスク有り難い
綺麗好き夢の中でもゴミ集め
一病を持って余生をゆるく生き
コロナ禍で大きな顔をするニート
橋本端男

・ 黒潮集より

終章もまだ衰えぬ好奇心
終いの湯ゆったり明日の案をねる
好きですと意外な言葉虚を突かれ
明日の為今日の笑顔にラップする
足どりがなぜか軽いね年金日
土井利一
藤木辰三郎
堀江加代
小田春奈
米島暁子

金波銀波（各地句会報）より

一行詩夢また夢で埋めつくす
掛け蕎麦へたまにや奮発生卵
お若いと言われ夢中でサブリ飲む
対面が出来ずふくらむわだかまり
静かなる余生かみしめ目刺し焼く
押し寄せるコロナと風邪の冬の陣
生きざまにほれた作家が勇気くれ
結ばれてこんがらって半世紀
営業とオレオレ詐欺が取る受話器
ヒットラーを彷彿させる民主主義
身の丈に合った同士が半世紀
生き辛さ背負い町へと森の熊
自動詞で生きる図太くしなやかに
背筋ピンおばあちゃんとは言わせな
松本隆子
高橋和男
千葉可津子
丸山くみ
近藤クニ
田室 泰
門間香津子
藤原敏弘
榎本ひかる
小田やす英
伊藤 修
藤巻恵子
吉田貞恵
後藤華泉

互選句 課題「きらきら」 令和五年 三月例会

浦安とみおか川柳会

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ランドセル背負った子等の目が弾む	趣味ひとつ増えて余生を光らせる	心こめ小さなダイヤプロポーズ	電飾の夜景都会の闇を消す	コロナ禍にとんとご無沙汰ネオン街	さりげなくダイヤの指輪揺らめかす	滑る結弦煌めく衣装の別世界	水上に太陽当り胸癒す	天の川LEDが遠ざける	ナナハンを磨く友の目オリオン座	初めてのお使いもって目が光る	山小屋の星が都会を忘れさせ	新人の目に宿ってる希望の灯	朝霧のスターダストが乱舞する	中国の煌めく今へメッキでは	吾子の目から光消えても母は母	リクルートスーツ朝日が眩し過ぎ	泣き顔が白い歯見せる退院日
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
												マスク越し輝く目元美人顔	自分の顔とサヨウナラする整形後	満天に星が流れて夢消える	流星に一縷の望み夜の底	高齢も金の輝き潜めたい	年代のキラキラ名前わかります